

令和5年度 年間授業計画

東京都立豊島高等学校

科目	社会と情報	2単位
対象	第3学年 選択者	
教科書	社会と情報 東京書籍	
副教材	コンピュータ入力問題集第3版 日本文教出版	

教科担当	
------	--

目標	情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。
----	--

学期	月	時間	単元	内容	留意点
1学期	4月	26	導入 私たちを取り巻く情報 アナログからデジタルへ 効果的なプレゼンテーション	情報社会における問題を考えるとともに、情報の適切な扱い方を考える。 コンピュータの基本的な操作と文章作成の方法を学ぶ。 デジタル表現の種類とその利点・問題点について学ぶ。 情報を整理し、図形などを用いて表現する。 写真や画像の編集を行う。 ソフトウェアを活用してプレゼンテーションを行う。	情報の扱い方に関する正しい知識やコンピュータの基本的な構成を理解させる。 コンピュータの基本的な操作に慣れさせる。 マルチメディアの扱い方・情報の加工・統合に関する理解を深めさせる。また、プレゼンテーションにより情報の適切な表現方法を考えさせる。
	5月				
	6月				
	7月				
2学期	9月	28	情報の表現と伝達 インターネットの利用 ネットワークとコミュニケーション	情報の整理・分析の方法を考え、表計算ソフト等を用いて、様々な問題解決に取り組んでいく。 インターネット上のメディアを利用するコミュニケーションの特徴と注意点について理解する。 メールの仕組みとマナーを理解し、適切な情報伝達ができるようにする。	身近な問題解決に表計算ソフトを利用することで、情報の適切な活用方法とデータ処理について理解させる。 メールの仕組みやマナーを理解させるとともに、TO、CC、BCCなどが使い分けられるにする。
	10月				
	11月				
	12月				
3学期	1月	12	情報化の影響と課題 法律と個人の責任	情報社会のあり方について考え、情報の扱い方について、一年間で学んだことを総復習する。	これからの情報社会における問題や課題に対する対処法を考えさせる。 1年間で学んだコンピュータの基本的な操作やデータ処理、情報の扱い方を復習させる。
	2月				
	3月				

評価	(観点・方法) 実習や課題、定期考査を通して、情報社会における情報の扱い方やコンピュータやマルチメディアの基本的な操作を理解し、情報モラルを踏まえて、適切に判断できているかを確認する。 また、自主的に課題等に取り組み、自分の考えを表現し、調査したことを情報処理することができるかを評価する。
----	---